

花を咲かせたカワラノギクと「桂川・相模川流域協議会 相模川湘南地域協議会」の中門吉松さん(左)と峯谷代表 =寒川町の相模川河川敷



寒川 絶滅危惧種再生へ カワラノギク1500株咲く

寒川町一之宮の相模川河川敷で、30年以上前に姿を消した絶滅危惧種カワラノギクの再生が進んでいる。2011年から育成が始まり、3年目の今年は約5千株が育ち、うち約1500株が白や薄紫色の美しい花を咲かせている。育成に取り組む「桂川・相模川流域協議会 相模川湘南地域協議会」の峯谷一好代表は、「も

っと増やし、多くの人にカワラノギクと相模川を見てもらいたい」と話している。カワラノギクは、相模川下流の寒川町、茅ヶ崎市、平塚市の河川敷では1979年に寒川で確認されたのを最後に姿を消していた。

ダム建設による河原の環境変化と、外来種の雑草シナダレススメガヤの繁茂が原因とみられるという。協議会は湘南地域に復活させたいと、2011年に取り組みを開始。相模川上流の群生地を採取し、寒川町の神川橋下流の河原に育成地を設けた。会員約10人が柵の整備や手入れ、シナダレススメガヤの駆除などを行い、同年は約900株が育ち約300株が花を咲かせた。

12、13年と育成面積を拡大。12年は約2400株が育ち約600株が花を付けた。今年は猛暑と台風の水による冠水で枯れたものもあつたが、会員の努力で順調に復活が進んだ。現在の育成地は幅約10メートル、長さ約100メートルだが、将来は2倍以上に延ばしたいという。峯谷代表は「神川橋から花のベルトを

眺められるようにしたい。相模川を大事にする心も養

えるのでは」と話した。(熊谷 和夫)

S H O N A N

湘南

情報は
こちらへ

- 湘南総局 ☎0463(27)1400 ☎0463(23)1200
- 鎌倉支局 ☎0467(22)4821 ☎0467(22)2800
- 藤沢支局 ☎0466(27)4892 ☎0466(27)8410
- 茅ヶ崎支局 ☎0467(87)1612 ☎0467(87)1522
- 平塚支局 ☎0463(35)1866 ☎0463(35)1866